

次世代イノベーション・マネジメント戦略会議

事業創造の研究開発マネジメント～強みを生かす水平分業の最前線

日時:2010年7月7日水曜 13:15～

会場:TKP 大手町カンファレンスセンター

定員:60名

企画の背景と狙い

金融危機後の激動の中、企業の研究開発は大きな岐路に立たされている。技術や品質の力だけで市場を攻略できる時代は終わり、スピーディに市場のニーズを取り込んだ研究開発・事業開発がこれまで以上に求められている。グローバル資本主義のパラダイムシフトが起こる中、成長市場を切り開く研究開発体制・事業モデルの確立は猶予を許さない段階に来ていると言えよう。

その様な中、オープンイノベーションなどの共同研究などに注目が集まり、研究開発体制の再構築が行われている。しかし、声高に叫ばれる技術戦略を、各企業の風土や戦略レベルに浸透させ経営レベルで実行することは容易ではない。また、技術力で勝る製品が、シェアを獲得できないなど、従来型のビジネスモデルの限界が表面化している。

本フォーラムでは、イノベーションを促進・実現する為の議論を、具体的事例の中で行う。というのは、概念的な理論だけでは、プロジェクト上で発生する数多くの問題に答えることができないからだ。事業シナリオの創造から、その組織運営や意思決定プロセスまで、事業責任者に求められる判断基準や考え方に触れながら議論を進める。参加企業の技術戦略に「新しい視点」と「決断」を吹き込み、この変革期に飛躍するための研究開発体制・事業モデルを築くことが本フォーラムの目的とする。

講演者

□ コニカミノルタ ホールディングス株式会社 技術戦略顧問 工学博士 島田 文生 氏

□ 日産自動車株式会社 ビークルインフォメーションテクノロジー事業本部 プログラムダイレクター 野辺 継男 氏

□ 日立製作所株式会社 新事業開発本部 オープン・イノベーションセンタ センタ長 広瀬 正 氏

講演内容は2ページ以降参照

フォーラムの焦点

- 垂直統合型から水平分業型への移行～脱自前主義への取り組み
- 自社コア技術と外部技術を活用した新価値創造の取り組み
- 共同開発における問題の克服～合理的・収益性の高い提携関係の構築方法
- グローバル市場に対応した開発体制・開発現場の確立
- 技術イノベーションを事業創造に結びつける取り組み

講演内容とタイムスケジュール

13:15 開場

13:25-13:30 開会の挨拶

13:30-14:40 **コニカミノルタ ホールディングス株式会社 技術戦略顧問 工学博士 島田 文生 氏**

「コア技術の高度化、複合化・融合化による新たな価値の創造と社内外連携」

- コア技術を活用した新規事業領域の拡大
- コア技術の高度化、複合化・融合化による新価値創造
- オープンイノベーションなど社内外連携の仕組み

コニカミノルタは、材料、光学、微細加工、画像の4分野で12のコア技術を保有しており、これらの技術資産を用いて環境エネルギー(例えば有機ELや太陽電池)・安心・安全・健康等の新規事業領域を拡大しようとしている。今回、コア技術の高度化、複合化・融合化により、新たな価値創造を図っていく研究開発マネジメントのあり方を紹介し、併せて、新規事業領域に参入する際必要な技術獲得のための社内外連携(オープンイノベーションも手段の一つ)の仕組みについても紹介する。

14:40-15:50 **日立製作所株式会社 新事業開発本部 オープン・イノベーションセンタ センタ長 広瀬 正 氏**

「オープンイノベーションの実践」

- 「協創」によるイノベーションの実現
- オープンイノベーションの手段の一つとしての、Corporateベンチャ投資
- 単純な外部技術の導入ではない、「イノベーション」を誘発する仕掛け

新事業の創生のために、従来の研究開発に加えて「事業化」のための努力が必要で、いろいろな施策と実践を行ってきた。「協創」を行う際の諸問題の克服など、「イノベーション」を誘発するには超えなければならない壁が多い。シリコンバレーでの経験を踏まえて、その試行錯誤について具体的事例とともに紹介する。

15:50-16:10 休憩

16:10-17:40

日産自動車株式会社 ビークルインフォメーションテクノロジー事業本部 プログラムダイレクター 野辺 継男 氏

「クルマと情報通信の融合で出現する新市場創造チャンスとその実現に必要なイノベーション能力」

- 昨今、情報通信系技術のイノベーションの多くは国際的水平分業の上で実現している
- 対クルマであっても、情報通信技術のスピーディな導入には水平分業型イノベーションの導入が不可欠である
- 一方、日本の情報通信系企業においては引き続き大規模垂直統合型が主流である
- では「水平分業型イノベーションの時代」に求められる日本企業の組織形態や事業責任者に求められる判断基準や能力とはなにか

クルマに情報通信技術を融合することにより、新市場・新事業の創造が可能であることが言われ始めて既に久しい。しかし、現実的にクルマに情報通信技術を融合することは開発思想やライフサイクルの違い等相容れない面があり、決して容易なことではない。一方、クルマ業界はここ数年、エネルギー・環境問題、成長市場の新興国シフト等、市場環境の大きな変化を受け、クルマの使い方そのものすら変える新しい事業創造機会を目の当たりにしており、その実現策として情報通信技術の導入が加速される可能性が高まっている。そうした状況の中で如何にこれまで困難であった技術イノベーションが実現され、市場展開を実現し得るのか、お話す。

17:40-17:50 閉会の言葉

17:50-20:00 懇親会・カクテルパーティ

ご参加お申込みフォーム

次世代イノベーション・マネジメント戦略会議

事業創造の研究開発マネジメント～強みを生かす水平分業の最前線

日時:2010年7月7日水曜 13:15～ 会場:TKP 大手町カンファレンスセンター

以下のフォームをご記入の上、FAXして頂けますようお願いいたします。 → FAX:03-6893-6114

会社名			
郵便番号・住所			
ご参加者 1			
お役職・部署			
Tel		Email	
ご参加者 2			
お役職・部署			
Tel		Email	
ご参加者 3			
お役職・部署			
Tel		Email	

ご参加料金 チェックボックスに印をお願いします。

- 1席申込み: 45,000円(懇親会・消費税全て込み) 2席申込み: 78,000円(懇親会・消費税全て込み)
 3席申込み: 100,000円(懇親会・消費税全て込み) ※参加者は随時変更可能

<申込み要領>

- フォーラム詳細案内・会場案内は、7月頭にご案内致します。
- 申込み後、ご都合によりご出席出来ない場合は、代理の方がご出席下さい。
※早期割引の方のキャンセルは原則として受け付けておりません。
キャンセルの場合、6月15日までに書面にてご連絡を頂いた場合、「50%の返金」もしくは「次回無料招待券の発行」をさせていただきます。
6月16日以降のキャンセルのご連絡は原則として受け付けていません。
- お支払いは請求書の到着から、原則10日でのお支払いをお願いしております。その際は、経理担当の方をご紹介下さい。
※経理上の問題がある場合は、お気軽にご相談下さい。
- 講演者・講演時間スケジュール・会場に関して、変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 個人情報に関して:開催フォーラムに関わる全ての方に関する個人情報の重要性を認識し、その管理・利用を適切に致します。

リバイバル・マネジメント・フォーラム事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-15-7 MAC銀座ビル 3階
電話: 050-7577-6385 FAX: 03-6893-6114